

# 会 議 録

審議会等名	平成18年度 第2回 生涯学習推進会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成18年11月20日(月) 午後2時～3時50分		
開催場所	三条市役所 栄庁舎 3階 中会議室	傍聴者	なし
出席	丸山委員、坂井委員、神子島委員、佐藤委員、内藤委員、長田委員		
	横山委員、村田委員、稲庭委員、梨本委員、田中委員、山浦委員		
	堀委員、小林委員、三巻委員、鈴木委員、桑原(晴)委員		
欠席委員	木津委員、長崎委員、桑原(良)委員		
教育委員会	松永教育長、金子生涯学習課長、原生涯学習課長補佐		
	近藤生涯学習係長、遠山主事		
議 題	(1) 生涯学習推進計画基本構想(案)について		
	(2) 生涯学習推進計画基本計画(案)について		
発言内容等			
田中会長	<開会の挨拶>		
松永教育長	<教育長挨拶>		
田中会長	本日の進め方ですが、まず議題(1)を話し、その後、最近のいじめ等子どもを取り巻く問題についてご意見いただき、計画に盛り込める部分は盛り込みたいと思います。その後、議題(2)について協議したいと思います。よろしいでしょうか。		
金子課長	<議題(1)について説明>		
田中会長	ご意見はございますか。		
丸山委員	本日の資料について確認したいのですが、下線付の構想案が送付されていますが、修正箇所を表している参考資料ということでよろしいでしょうか。		
金子課長	そうでございます。		
田中会長	ご説明のあった構想について、皆さん了承ということでよろしいでしょうか。お考えのこともあろうかと思しますので、次に進ませていただきます。		

	<p>それでは、これから30分程度、現在各地で起こっておりますいじめ等の問題につきまして、フリートークということで、皆さんで考えてみたいと思います。先回、道徳教育等のご意見をおっしゃられていた小林委員さん、いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>学校でも週1回、道徳の時間を持っているとのことだったと思います。最近、コンビニエンスストアの店員さんから、座って立ち読みをしている子どもについての話を聞きました。そういった子どもでも、家庭ではよい子で、家の外の社会ではあまりよくない行動をするという二面性があるようです。戦前のような統率教育といったものが行えるとよいのではないのでしょうか。</p>
田中会長	<p>学校教育で解決できないかということでしたが、他にありますでしょうか。</p>
佐藤副会長	<p>学校でなく家庭の問題だと思います。親の世代もコミュニケーションが上手くなく、家庭の教育力が、そして地域の教育力が落ちているのではないかと思います。その対処として、生涯学習計画の中で社会のルール等を教える家庭教育、しつけ等について、盛り込むべきだと思います。</p>
田中会長	<p>小林委員さんは学校、佐藤副会長さんは、学校ではなく、家庭の問題ではないかということでした。他にご意見はございますか。</p>
稲庭委員	<p>自分が子どもの頃は、学校で、今で言う体罰、愛のムチがあったのではないかと思います。今はそれがなくなって、親以外の近くにいる大人が、叱ってくれなくなったと思います。それによって、コミュニケーションが取れなくなったのではないのでしょうか。そして、家庭、学校等様々にある環境の中で、今は、地域という枠組みがなくなったように感じます。</p>
田中会長	<p>いい点をお話しいただいたと思います。地域がなくなったという非常に大きな問題提起をしていただきました。計画に盛り込むべき内容ではないかと思います。横山委員さんいかがでしょうか。</p>
横山委員	<p>学力低下が言われていますが、それよりも、人間関係を作る力が落ちていることが問題だと思います。表面は親しげだが、心は許していない。学校で、人と人との関わりを教える場を提供する必要があると思います。安心して過ごすためには、自分と他との関係を、浅はかなものでなく本心から言い合えるものにするべきで、そのための色々な活動を本校でも行っております。昔はガキ大将のような異年齢集団がりましたが、最近は同年の均質な集団</p>

	ばかりになっており、それを補うものとなっているかと思います。また、教師が子どもにどう接すべきか、体罰ではなく子どもの心に染み入るような、人間をさらけだして接する姿勢が、教師に求められているのではないのでしょうか。
桑原委員	先日、小学校の同級会があり、先生が、今なら問題になりそうなことをしただけで謝られました。私は、自分たちが悪いことをしたのだから謝らなくてもいいと思いましたし、皆もそう言いました。さて、横山委員さんが言われた人付き合いのことについては、最近のいじめ問題について家族と話をしてくるよう、小学校から宿題が出されまして、その話の中で中学生と高校生の上の子どもが「それは本当の友達を作らなければだめだ」と言いちょっと感動しました。小学生ではまだそのことがわからないのではないのでしょうか。やはり、同年代はもちろん、異なる年代の友達も大切だと思いました。
長田委員	ボランティアセンターをしており、小中学校でも福祉の講座等を行っています。子ども達は、ボランティアの方の手話技術等の指導をしてもらうことはもちろん、普段会わない大人に会い指導してもらうことで、人とのふれあいを感じられてうれしいようで、後で手紙をもらうこともあります。生涯学習は幅広いものですから、皆さんそれぞれの得意分野を重なり合わせるような、普段会わない人と接することができるような機会を、学習として設定できるとよいのではないのでしょうか。
三巻委員	今は保護者と学校の信頼関係が薄れ、学校等に責任転嫁するような親が増えてきていると思います。また、スクールアシスタントや指導員をすることで、保護者と学校、両方の立場でものを見る機会がありますが、親は協力しない傾向にあるのではないかと思います。先生も怖いのか、遠慮する傾向にあると思います。地域の人等が学校に入って、その隙間を埋めるようなことが必要ではないかと思います。
鈴木委員	最近は社会全体が忙しくて時間がないせいか、結論だけで、親が子どもに対して納得のいく説明をした、叱り方をしていないと思います。そのために、キレる子どもが増えてくるのではないのでしょうか。子どもの叱り方をPTAが学ぶ機会を作ってはどうでしょうか。時間をかけて家庭教育を行うことが大切だと思います。
村田委員	学校では、心の教育を行うことは大切なことと考え、自分はどう生きるべ

	<p>きか等を考える時間として、道徳教育を週一時間行っております。最近の問題については、色々な立場の人が危機感や対応するための意見を持っており、それを集約し結び付けていくことが、この会議の役割ではないかと思えます。既に計画案の中で、地域の結びつきを強めることの必要性が、まちづくり活動として盛り込まれているようです。なお、私たち学校はどう対応すべきかということは、異年齢集団で活動するようなことを取り組むべきだと思います。</p>
堀委員	<p>子どもについての話が多いですが、高校の未履修問題等、大人社会のゆがみが子どもにでているのではないのでしょうか。最近、中学校の総合学習の時間にある職場体験の子どもを受け入れましたが、一対一では真剣、素直な態度でした。ある程度の人数になると、先ほどのコンビニのような、反社会的な行動になることがあるのではないのでしょうか。人と人の付き合いが不足しているため、社会の中におかれた自分の立場の認識が少ないからそういった行動に出ているのではないのでしょうか。ちなみに、地域のつながりも低下してきており、防災訓練の参加率も落ちています。</p>
田中会長	<p>青年前期の教育についてのお話でした。</p>
横山委員	<p>仙台市は給食費の滞納者が2割もいるらしく、また、給食費を支払っているのだから、「いただきます」と子どもに言わせなくてもよいという保護者もいるそうです。</p>
田中会長	<p>山浦さんは食育関係でいらっしゃいましたでしょうか。いかがでしょうか。</p>
山浦委員	<p>「いただきます」は食べ物の生命を「いただく」ことだと、先生方におっしゃっていただきたいと思います。子どもたちが携帯電話を使っていますが、友人から届いたメールにすぐに返事をしないといけないようです。子どもに携帯電話を持たせる必要は無いのでは。</p>
坂井委員	<p>子どもだけでなく、親の教育も大切ではないのでしょうか。</p>
梨本委員	<p>昔は、先生はもっと偉い立場で、体罰についても特にどうこうということではなかったが、今は子どもをかわいがり過ぎてしまい、子どもがそれで良いと思ひ自分のことばかりを考えているから、体罰の問題等が起こるのではないのでしょうか。どう子どもを育てるか、鍛えるかを考える必要があると思ひます。</p>

田中会長	どう子どもを育てるか、鍛えるか。大事なことだと思います。
神子島委員	子どもは何らかのメッセージを発しているのに、親が気付いていないのではないのでしょうか。今日何々があった等の話を、もっと聞いてあげる必要があるのではないのでしょうか。
内藤委員	青少年育成県民会議等にも参加をしておりますが、FM放送と県民会議が協力して「大人が変われば子どもも変わる」というコマーシャルを流し、啓発活動を行っていることもあり、大人が変わることの必要性を感じます。また、学校に押し付けるのではなく、家族での話し合い等の家庭教育が大事であると思います。あと育成会にも参加しており、行事等では共通の衣装等を用意し連帯感をもてるようにしながら、老人から子どもまで幅広く参加してもらおうよう呼びかけております。そのかいあってか、先日、悩みを持つ子どもが相談に来てくれました。そういった地域の行事も大切ではないかと思えます。ちなみに、話は変わりますが、現在下田地区にございます、公民館推進員の方から青少年育成指導員をしていただきたいと思っております。
田中会長	家庭教育、地域コミュニティ等のキーワードがあったかと思いますが、共通することは、人間関係を大切にすること、一歩踏み込んで思い切って行動することを皆さん考えられているように感じました。さて、戻りまして議題(2)について、ご説明をお願いいたします。
金子課長	<議題(2)について説明>
田中会長	ご意見はございますか。
堀委員	生涯学習に関する意識調査の中で、生涯学習の必要性の回答率は高かったが、実際には学習できていない人が多かったと思いますが、そういった人が学習しやすくなるような環境をつくるのが盛り込まれていないと思いますが、いかがでしょうか。また、P6「ものづくり」に「古くから「金物の町三条」として全国に知られ」とありますが、大正時代以降からこういった認識になっていったと思いますが、どういう認識でいらっしゃるでしょうか。
金子課長	学習情報を知らなかったからできなかったという方のため、P12、13「学習情報提供・学習相談体制の充実」で対応したいと考えますし、施設整備を行うことでも、対応してまいります。また、P4「成人の学習機会の充実」の中で、「学習機会の場を提供する際には、場所や時間に配慮する」と

	あり、そのように対応したいと考えております。もう一点、「古くから」のことにつきましては、堀委員さんがおっしゃられるように、全国的に知られるようになったのは大正時代頃からかと思いますが、通説によると江戸時代に和釘の生産から始まったということもあったかと思いますが、不適切であれば修正したいと思います。適切な表現がございましたら、お教えいただくと助かります。
田中会長	他にございますか。
内藤委員	全国的な問題かと思いますが、国際結婚をした人達について、言葉のことで地域とのふれあいができない等の問題がおきていると思いますが、現在はソレイユ、福祉センターで対応事業があるようですが、生活や心のサポート・支援体制がさらに必要ではないでしょうか。
田中会長	大きな問題ですね。生涯学習課だけで解決できる問題ではないのではないのでしょうか。市役所全体で、国際理解を進めるような部署はございますか。
金子課長	政策推進課にございます。
三巻委員	食生活改善推進委員協議会関係のみそ汁づくりで、スリランカの方と食文化の交流ができました。そのような、今できることから行ってもよいのではないのでしょうか。食育だけでなく、他の分野でも外国の方にお知らせして、参加してもらうことができることがあるのではないのでしょうか。
内藤委員	どう声かけをしてよいか、わからないのですが。
三巻委員	国際結婚世帯を把握しているのは行政ですから、まさに、行政が行うべきだと思います。
金子課長	生涯学習課だけで対処できることではないと思いますので、行政全体で連携して行うことということで、宿題とさせていただきたいと思います。現在は、ソレイユで外国人の方の居場所作りを行っており、中国人研修生の方が多くいらっしゃっています。
田中会長	横山委員さん、村田委員さん、小中学校に在学の方はいらっしゃいますか。
横山委員	何人かいらっしゃるようです。
村田委員	当校に外国人のお母さんのこどもさんが、いらっしゃいます。
田中会長	言葉、風俗、宗教等、考え方が異なる部分があります。私が教員の頃、担任が帰国子女の生徒に牛乳を飲みなさいとただただで、1ヶ月給食を拒絶したということがありました。ちょっとした意見の相違が大きなギャップを

	生んでしまいます。それを埋めるため、地域の人材が学校に入ることで、良い方向に進むのではないのでしょうか。行政だけでは解決できない大きな問題だと思いますので、宿題として、行政全体でも考えていただきたいと思えます。
内藤委員	政策推進課にもお伝えしております。ソレイユで外国人の方の居場所作りをしているとのことですが、その周知については広報誌だけではなく、自治会を通して、または、直接家庭等への連絡体制もいいのではないのでしょうか。
丸山委員	P 8、9「現代的課題」について、悪質商法等の消費生活に関する項目をいれてはいかがでしょうか。
田中会長	わたしもそれは考えておりませんでした。事務局の宿題とされてはいかがでしょうか。
金子課長	そうさせていただきます。
神子島委員	P 13「生涯学習施設の整備・充実」について、期限はいつごろでしょうか。
金子課長	新規施設の建設については、新市建設計画に記載がある下田公民館、栄体育館の建設を考えており、ここでさらに新しい施設の検討をするわけではございません。また、学校の有効活用についても、盛り込んでおります。
田中会長	ソフト面ということですね。
佐藤副会長	栄体育館については準備委員会が活動しておりまして、建設費という条件はございますが、単なるスポーツ施設だけではない講座等が行える施設を併設すべきかどうか、栄地区のことではございますが、地区だけの利用ではないと思えますので、今後できてくる構想について、皆様のご意見が伺えたいと思えます。
田中会長	予告ですね。構想が今後提案されるので、その時までには、ご意見をまとめておいてくださいとのことでした。
鈴木委員	P 8「まちづく学習の充実」につきまして、本成寺地区のほなみコミュニティが活動を始めましたが、まだ地域にも浸透していないので、ここにありますように情報発信をしていきたいと思えます。
田中会長	皆様ご意見はすべてだされましたでしょうか。それでは、いただいたご意見を事務局と私、佐藤さんと議論して、修正案をお示ししたいと思えますが、よろしいでしょうか。よろしければ、佐藤副会長さんからお言葉をいた

	だきたいと思います。
佐藤副会長	長時間にわたり、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。
	色々な宿題があったかと思いますが、事務局と調整したいと思います。
	広く様々な分野のことがございますが、計画に反映させられるよう今後ともご意見を頂戴したいと思います。
近藤係長	今回は12月中旬以降に計画の審議をさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。
田中会長	年内に次回会議を行うということですが、みなさんよろしいでしょうか。
	それでは、今回はこれで終わりにさせていただきます。

15時50分 閉会